

鉄道ピクトリアル

2021年12月号 Vol.71 No.12 通巻No.993

(特集)名古屋鉄道6000系

■表紙 犬山橋を渡る急行河和行き6000系……井上 英樹
新鶴沼一犬山遊園 2016-2-2

■グラフ

スカレットの通勤電車 (1~8ページ)

澤木良直・橋本和佳・松浦広明・佐野嘉春・小林 武
……………下嶋一浩・関 周一・浜村正弘・齊藤貴伸・井上英樹
中村智哉・土屋友成・大林一虎・早川昭文・川合弘晃
名鉄6000系の客室内を見る ……………写真:外山勝彦・井上英樹…116

*

名鉄6000系思い出の場面 ……………写真:齊藤貴伸・白井良和ほか… 41
名鉄6000系グループの貫通形先頭車 ……………写真:土屋友成ほか… 46
名古屋鉄道6000系グループ 形式集……………構成:橋本政明… 50
6000系が登場した頃の名古屋鉄道運転時刻表
……………所蔵・解説:尾崎幸弘… 62
知立駅高架化の現況と三河線6000系 ……………渡辺 桂一… 64

*

Pictorial Color Gallery イスタンブールの単車たち……………松本 誠…113
[JR東日本相模線用E131系500番代/JR四国2700系ロー
レル賞受賞記念列車を運転/JR東日本E4系が定期運
用から離脱ほか] 118~120

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)……………121
2021.9.25 京阪電気鉄道ダイヤ改正と車両動向……………構成:和田昌浩…128
相模鉄道の話 ……………構成:大里信之…130
各地の話題から……………白川 淳…131
JR西日本キハ120形カラーバリエーション……………解説:西脇浩二…132
連載・昭和の鉄景(第60回)……………椎橋 俊之…134

■本文

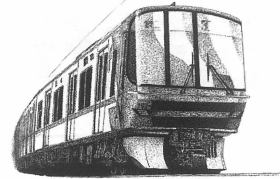
今月の話題:名古屋鉄道6000系……………編集部… 9
清水 武さん、柚原 誠さんに聞く、名鉄6000系とその時代
……………構成:服部朗宏… 10
M式(名鉄式)自動連結解放装置の開発について……………藤野 政明… 20
名古屋鉄道 制御装置の変遷—直流電動機の時代を概観する—
……………真鍋 裕司… 24
6000系誕生の礎となった「セットアッパー」
3880系の活躍を称える……………三浦 衛… 32
名古屋鉄道6000系グループのプロフィール……………外山 勝彦… 65
名古屋鉄道6000系 運転の興味……………豊田 浩基…103

*

鉄道の話 ……………編集部… 40
書評(681)『よみがえる記憶 北陸の鉄路』……………三木 理史…135
鉄道技術との60年⑫—中国との付き合い—……………曾根 悟…136
形式解説 JR西日本キハ120形①……………西脇 浩二…140
常磐緩行線103系1000番代 一波乱含みの車歴を追う—〔後編〕
……………芳田あきら…149
9月のメモ帳……………159
読者短信・情報ファイル……………160
後部車から……………163

ISSN0040-4047
Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット:山本茂樹

名古屋鉄道6000系

大都市圏に路線網を展開する大手民鉄各社では、輸送の中核をなす通勤・通学需要に対応して、各社各路線に適合した多彩な通勤車両を導入し、沿線利用者に親しまれている。大手民鉄では戦後の長い年月にさまざまな形式が生まれ、技術改良をかさねて今日に至っており、各社ごとの発展経過は鉄道趣味・研究のうえでも興味深い事柄である。その中で、名古屋圏の輸送を担う名古屋鉄道における通勤車両の展開は際立っており、強力な個性が見て取れる。競合する国鉄線に対し、通勤輸送といえどもクロスシート車両を用い快適性を確保した時代から、他の民鉄同様に通勤・通学の混雑が激化した中でクロスとロングシートの双方を模索しつつ車両開発を進めた時代、そしてロングシート車が活躍する現在に至る経過は、他にはない見応えの多い記録であるといえよう。

こうした名古屋鉄道における通勤車両の展開を概観するうえで中心に位置するのが1976年に導入された6000系車両である。従来は旧形2扉クロスシート車が主力だった名鉄の通勤輸送は、需要の激増によってパノマカー7000系まで導入する事態となり、東急から旧形3扉車を譲受し輸送を確保した中で、新たな通勤車両をめざして6000系が開発されたのである。当初は小型クロスシートで就役したが、通勤輸送力の増強効果を発揮し、客室や走行システムの改良を加えながら1992年まで増備が続けられた。6000系列の総両数は342両に及び、名鉄車両の一大勢力に発展し、VVVF制御が主体となる通勤車両全盛の足がかりを築いた。今日、新勢力の通勤車両に押され、一部は淘汰も始まっているが、今も多くが活躍を続けている。増備年次が長期にわたり、諸改造も多彩で、車両研究の魅力にも富んだ系列という特徴もある。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlight Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan